

2020年3月期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)

2020年5月27日



新型コロナウイルス感染拡大防止対策

当社では、お客様をはじめステークホルダー、社員とその家族の安全確保・感染予防と感染拡大の防止に継続的につとめております。

対策

社員の安全確保

3密回避

- ・ 在宅勤務とシフト勤務による出社
- ・ 出社時は時差通勤

毎日のバイタルチェック

取引先の安全確保

オンラインの活用

- ・ WEB会議
- ・ イベントはオンラインセミナー
- ・ WEB面接の採用活動

社会の安全確保

出勤自粛要請への呼応（出社率30%程度）

社員への慰労

出社日は特別手当の支給

状況

感染者ゼロ（5/27時点）

開発工程の大幅遅延なし
（積極的営業活動は自粛しております）

REC NEAO（在宅勤務の
モニタリングツール）展開

目次

1. 2020年3月期 決算概要

2. 2021年3月期 業績予想

3. 2021年3月期 重点施策

2020年3月期 決算概要



2020年3月期 連結決算概要

(単位：百万円)

	2020年3月期 期初計画	2020年3月期 実績	計画 達成率(%)	2019年3月期 実績 (ご参考)	前期 同期 増減(%)
売上高	2,300	1,928	83.8%	2,268	-15.0%
売上原価	708	745	105.2%	724	+2.9%
売上総利益	1,592	1,183	74.3%	1,543	-23.3%
販管費	1,192	1,020	85.6%	979	+4.2%
営業利益	400	162	40.5%	564	-71.3%
経常利益	400	172	43.0%	565	-69.6%
当期純利益	310	83	26.8%	407	-79.5%

売上・利益ともに計画未達および前期比で減少
 主因は、ライセンス売上減少およびシステム開発サービス休止による

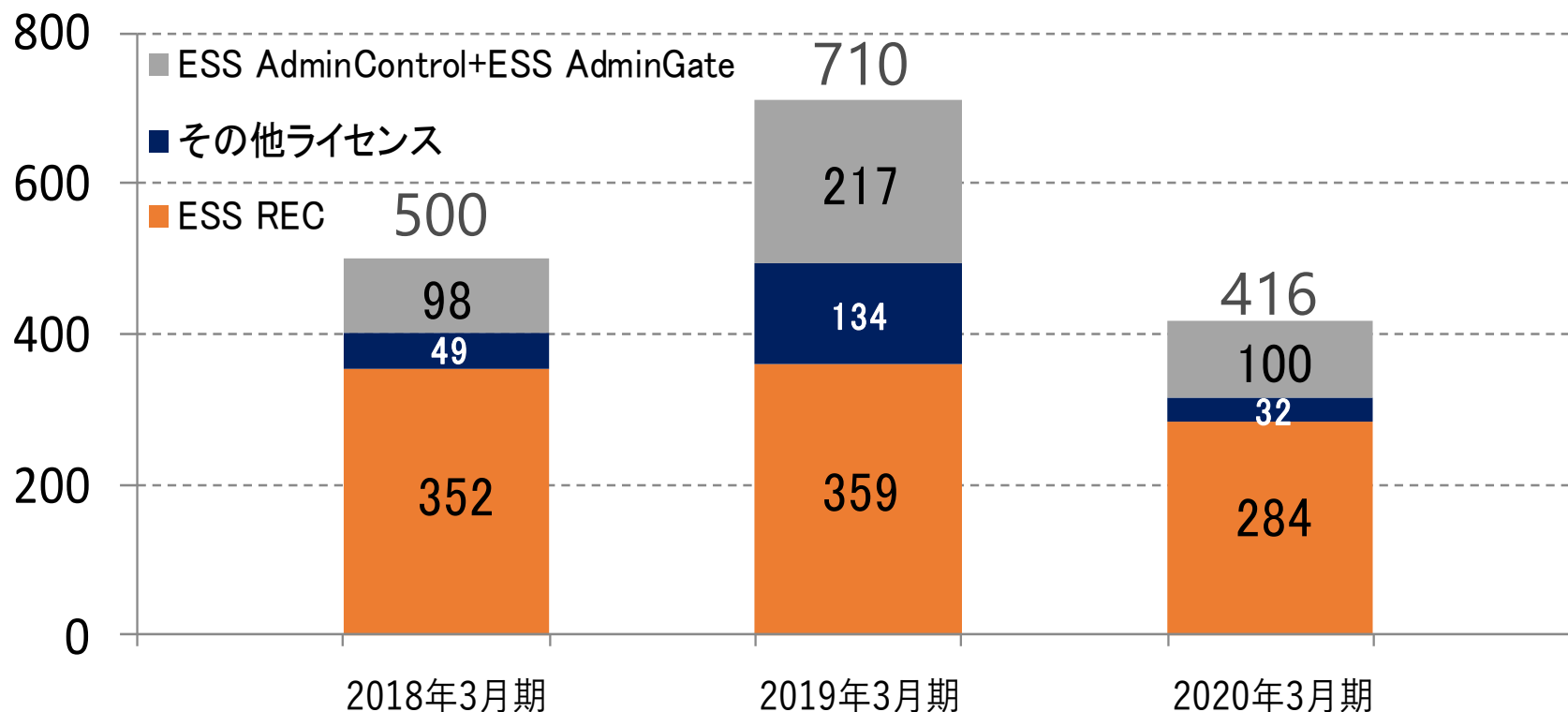
売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	2020年3月期 期初計画	2020年3月期 実績	計画 達成率 (%)	2019年3月期 実績	前期 同期 増減(%)
ライセンス	660	416	63.0%	710	-41.4%
保守サービス	1,180	1,116	94.6%	1,034	+8.0%
クラウドサービス	75	76	101.3%	68	+11.6%
コンサルティングサービス	222	177	79.7%	225	-21.3%
SIO常駐サービス	70	33	47.1%	29	+14.0%
その他	43	66	153.5%	55	+19.8%
パッケージソフト ウェア事業計	2,250	1,885	83.8%	2,123	-11.2%
システム開発サービス 事業計	50	43	86.0%	145	-70.3%
売上高合計	2,300	1,928	83.8%	2,268	-15.0%

ライセンス売上 3期比較

(単位：百万円)

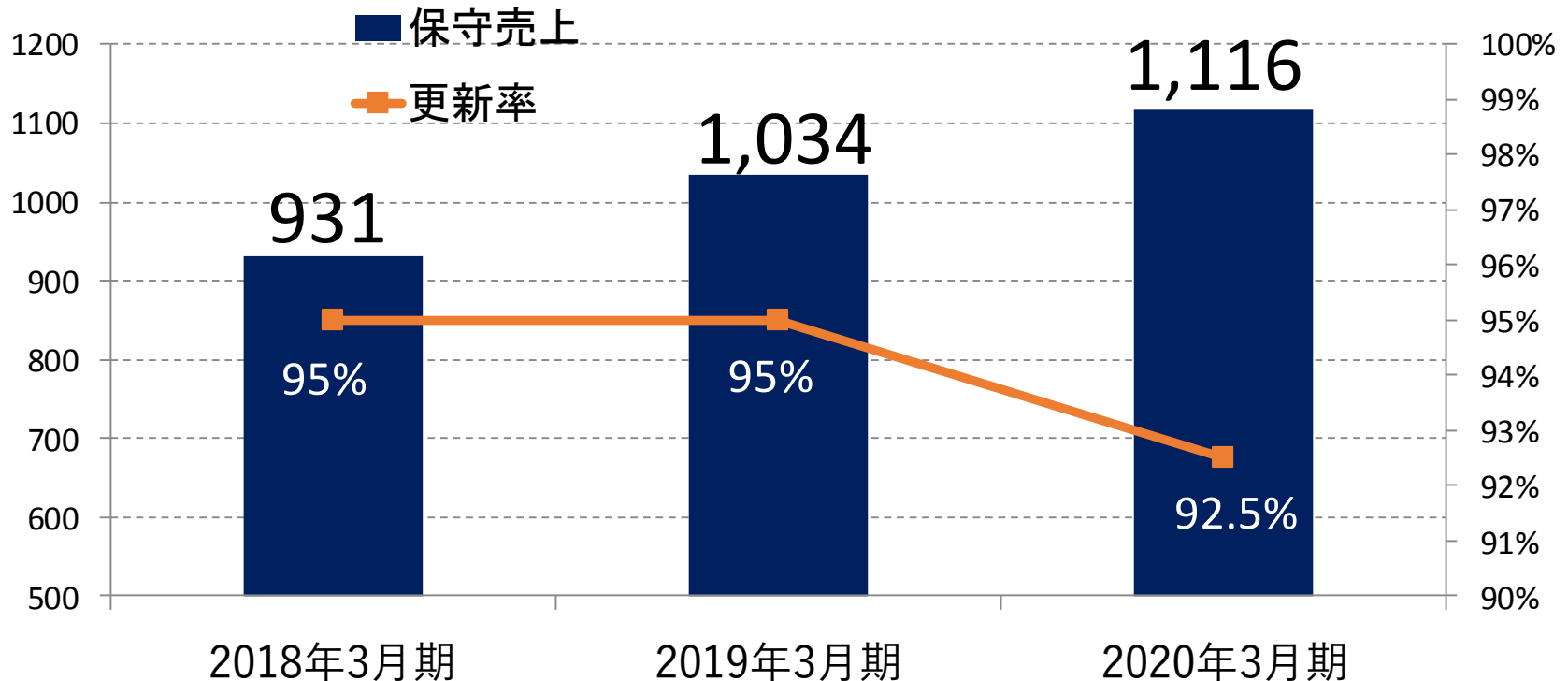


ライセンス売上は対前期比294M、41%減少

- ・前期の公共向け大型案件と同規模の案件を獲得できなかったことによる減少
- ・代理店を経由した重要インフラ事業者への提案が想定どおりに進まなかった
- ・戦略的な営業活動が停滞

保守サポートサービス売上 3期比較

(単位：百万円)

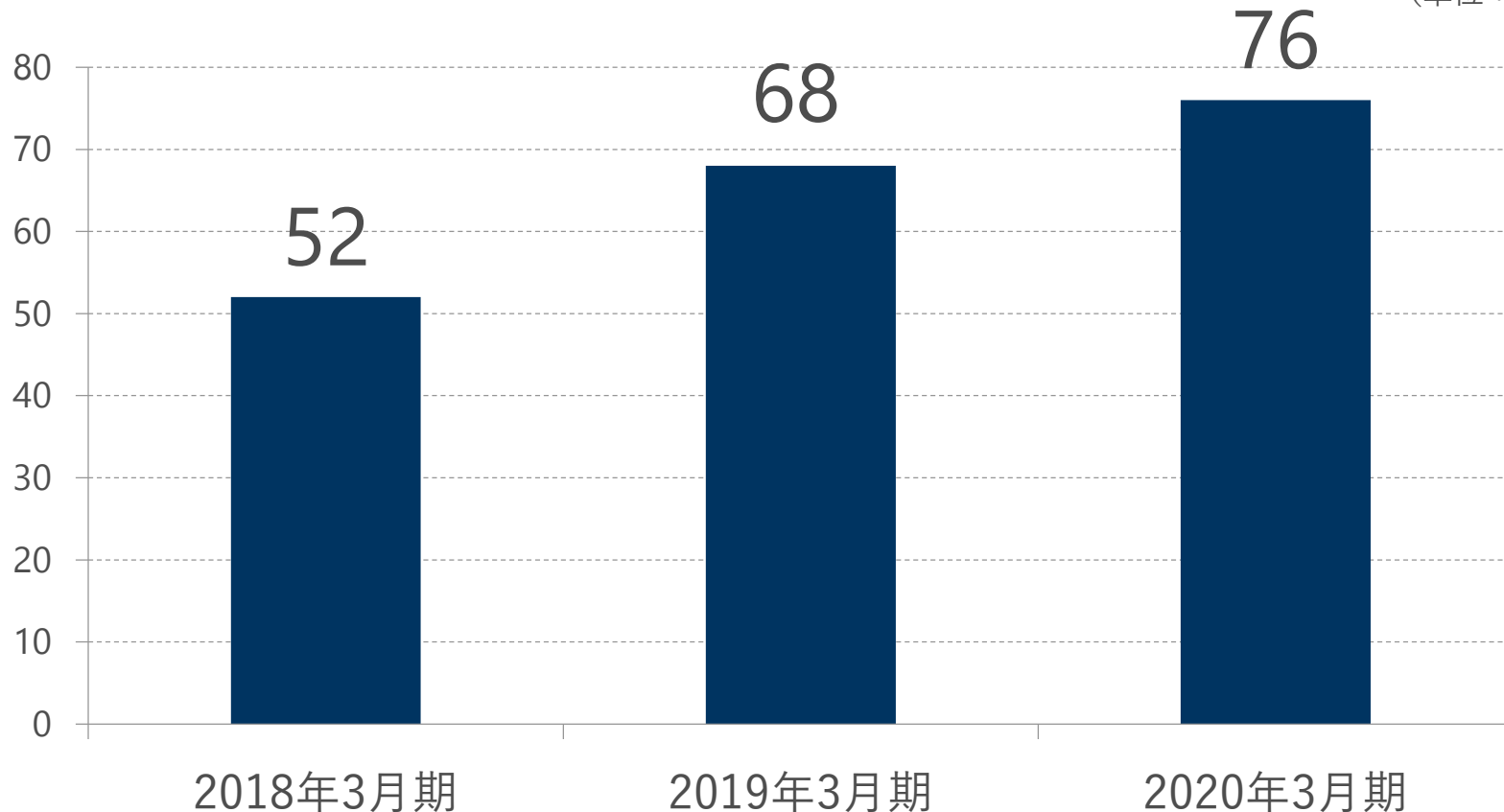


保守契約更新率が5年ぶりに95%を割りこむ

- ・コスト削減ニーズが高まり、本番機以外のシステム等での解約が発生
- ・第4四半期においては、新型コロナウイルスの影響で顧客側事務処理が遅延

クラウドサービス売上 3期比較

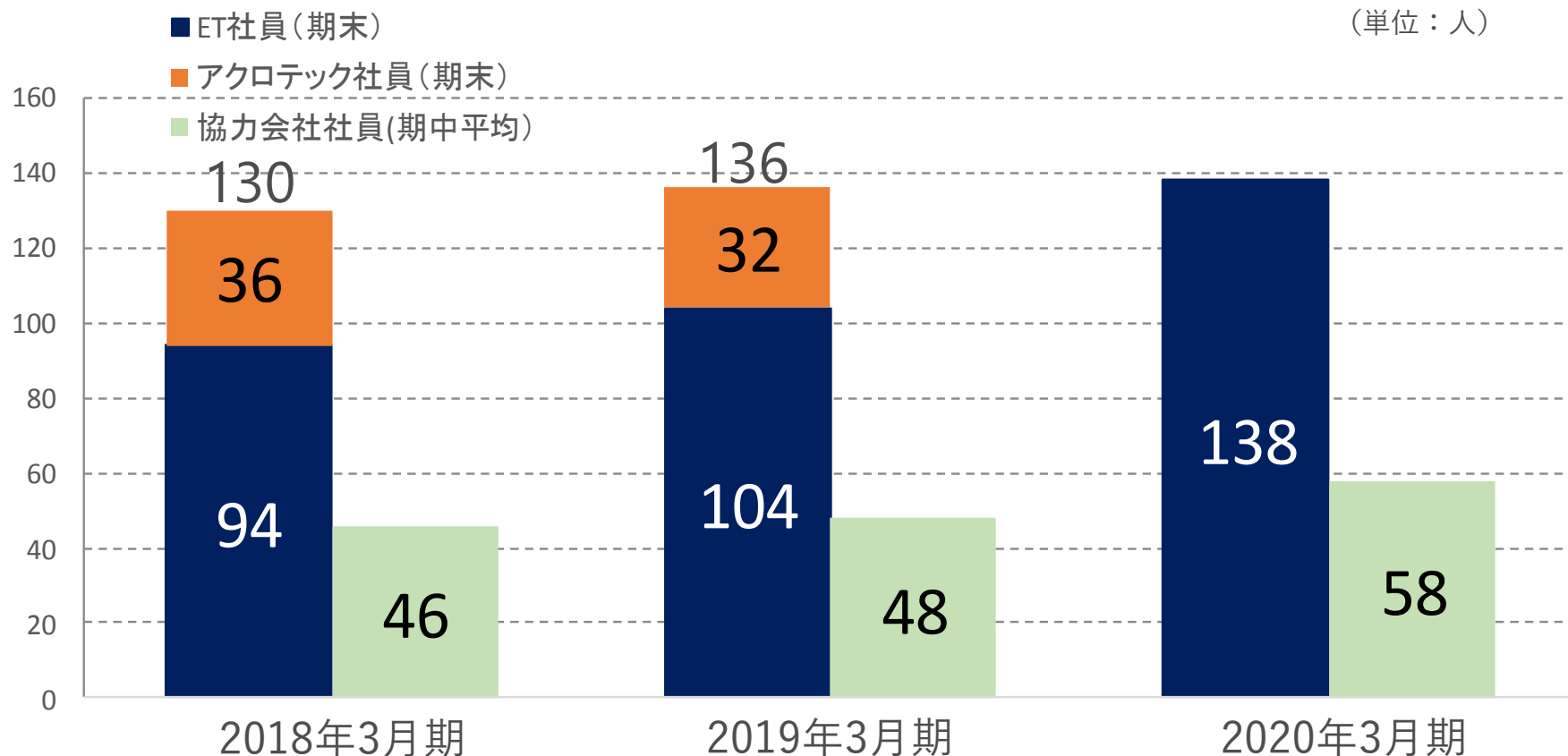
(単位：百万円)



クラウドサービス売上は順調に伸長

・ ESS REC NEAOもラインナップに加わる。効果は今期以降を期待

人員推移 3期比較



- ・ アクロテックの全社員が2019年9月末付けで転籍
- ・ 離職者は2019年3月期25名から2020年3月期は20名に減少
(特にパッケージソフトウェア事業で改善)

売上原価と販売費および一般管理費の状況

原価	21百万円	増加	
販管費	41百万円	増加	(前年同期比)

主な増減内訳

研究開発費の増加	87百万円
外注費による増加	65百万円
広告宣伝費による増加	16百万円
人件費の減少	△28百万円
上場関連費用の減少	△27百万円
採用費の減少	△21百万円
その他費用増減	△13百万円

貸借対照表概況

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	期末増減額
流動資産	3,767	3,515	-252
固定資産	442	362	-80
総資産	4,209	3,877	-332
負債	852	624	-228
純資産	3,357	3,253	-104

株主還元、他

	2019年3月期	2020年3月期
配当の状況	普通配当14円 記念配当 4円 合計18円	普通配当 18円 を予定

自己株式の実施

- ・ 取得期間：2020年2月～5月
- ・ 取得株数：170,000株(2.46%)を上限

その他

- ・ 2020年3月10日付けで貸借銘柄に選定

2021年3月期 業績予想



国内外の新型コロナウイルスの影響による企業活動の制約等、不確定要素が多く、現時点で2021年3月期の業績予想を合理的に見積もることが困難なことから業績予想を未定とさせていただきました。

なお、合理的な算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

2021年3月期 重点施策



2021年3月期 重点施策

新たな価値創造

ストックビジネス強化

業務効率化による働き方改革の推進

新たな価値創造

働き方改革市場

テレワーク市場／RPA市場における生産性向上、ROBOTの可視化ならびにセキュリティ強化を実現するソリューションの提供【TOPIX 次ページ】

特権ID管理市場

新SIOの製品化による既存製品の機能強化、製品差別化

システム運用市場

業務自動化ソリューションの創出に向けた研究開発への着手

【TOPIX】働き方改革市場

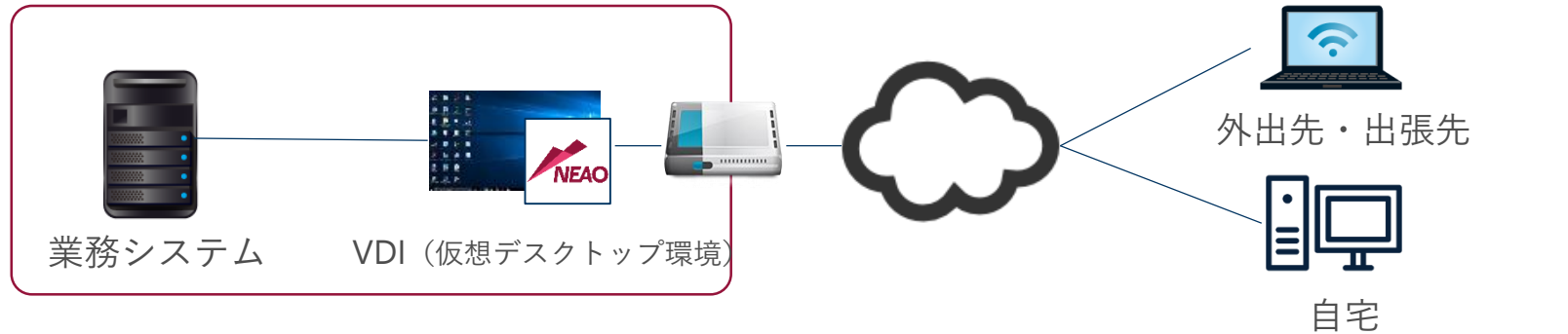
累計導入社数 500社を誇る市場シェアNo.1 証跡監査ツール「ESS REC」の技術をもとに働き方改革を支援するツールとして「ESS REC NEAO」を新たに発表

テレワーク

業務内容の把握

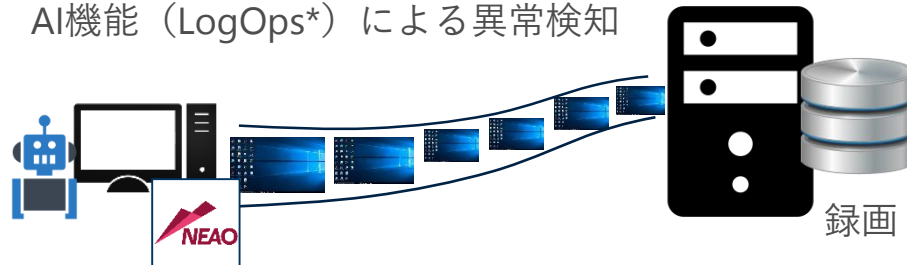
就業時間の測定

セキュリティ確保



RPA

AI機能 (LogOps*) による異常検知



アラート

操作記録を蓄積

異常を検知 (アラート)

レポート出力

*LogOps : 研究開発中のプロジェクトです

ストックビジネス強化

新しいクラウドサービスへ拡大

サブスクリプションモデルの提供により、新たなジャンルの事業者と協業を開始

DaaSベンダーなどテレワーク向けサービスの提供事業者

RPAソリューションを提供する事業者

保守サポートサービスの進化

顧客の不満解消（カスタマーリレーション）から顧客が感動する期待以上のサービスを提供する**カスタマーディライト**へ挑戦

業務効率化による働き方改革の推進

マネジメント強化

次世代リーダーの育成および管理者層の自己・組織管理力向上
年齢や勤続年数に関わらず自律的に行動する人材の育成

適応力強化

環境の変化へ柔軟に対応できる制度、仕組みの構築

- 人事評価制度
- テレワーク環境
- システム、インフラ環境整備
- RPA導入による効率化

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。